

阿部 和歌子 福島県福島市 五十三歳

今年の五月、庭に薔薇の苗を五本植えた。草むしりだけに忙しかった殺風景な庭が息をし始めた気がした。リビングの掃き出し窓から臨む狭いスペースだが、窓越しに外を見るのが楽しみになった。

程なくオリーブやブルーベリーの低木も植えてみた。みどりが風にそよぎ、時々小鳥が遊びに来る。庭を見るのが益々楽しくなった。

今年は酷い猛暑が続いた。気が付けば日焼けの心配より、まだ根付いたばかりの庭の住人たちを枯らさないようにと心を配っている自分がいた。痛い程の暑さにさらされた真南の庭で、それでも薔薇は、花を咲かせてくれた。あつという間に花びらを散らしてしまうのだが……。

立秋の頃降った恵みの雨で庭が潤い、薔薇の花は艶やかに発色し、暫く咲き続けた。欠けてゆく月の夜空に、大きく輝く火星の赤い光と、庭に咲くブルーリバーという名前の薔薇の花の青みの対比の美しさにわくわくした。

薔薇が花を咲かせると、家を離れて生活している息子たちに写メをする。武骨な息子たちから、「きれいだね！」「素敵だね！」と必ず返信が来る。私の育む庭は、遠く息子たちの携帯に取り込まれる。

私の幸せな気持ちも一緒に届いているだろうか。